



ペットかもめ

環境に配慮したものの作りやサービスで、
お客様とともに取り組む持続可能な社会の実現！

無印良品

イオンモール岡山



トレーがに

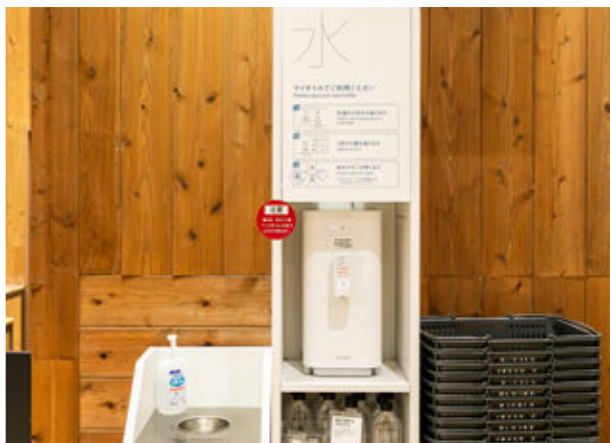
企業紹介



株式会社良品計画は1989年の設立以来、「無印良品」の企画・開発から調達、流通、販売まで一貫して行う製造小売業として活動しています。「感じ良い暮らしと社会」の実現をめざし、「簡素が豪華に引け目を感じることのない価値観」を提案。日常を整え、豊かにする商品やサービス、さまざまな取組を提供しています。

取組事例のご紹介

Reduce(リデュース) 使い捨てプラスチックの削減



お客様が持参したマイボトルへの給水サービス

無印良品では、国内ほぼ全店で、誰でも無料で使える給水機を設置。マイボトルや水筒を持参し「毎回ボトルを捨てるのではなく、水を詰め替える」という習慣を広めることで、ペットボトルごみを減らすことを目指しています。1日1本でも減らすことが、持続可能な社会への第一歩になると考えています。



紙ハンガーの利用

2019年から順次、陳列用のハンガーやフックを再生紙に切り替えてきました。2022年10月より、これらを回収・リサイクルすることで、さらなる資源の循環を目指しています。

これはリサイクル率の高い紙だからこそできる同じ原料での活用で、プラスチックから紙への置き換えを後押しする取組だととらえられています。



お客様の反応は？



ハンガーやフックをサッカー台で外して回収ボックスに入れてくださるお客様が多数いらっしゃいます。この取組が、お客様においても当たり前になっていることから、プラスチック3Rへの意識が高まっていることを感じています。



Recycle(リサイクル) プラスチック資源循環への取組



不要になった一部プラスチック製品の回収

店内レジ付近に、収納ケースやボトルなど(無印良品の製品に限る)プラスチック製品回収ボックスを設置。資源循環型・自然共生型・持続可能な社会の実現を目指すにあたり、リサイクルを推進するため回収を開始しました。

プラスチック製品の回収量

160,339kg (2025年)
※全店舗の合計回収量

社内の反応はどうか？



商品開発において「異素材が使用されている場合に、分解しやすい設計になっているか」「単一素材で作ることはできないか」など、お客様の手に渡った後の出口まで考えた意見が増え、非常に心強いです。また、幅広い分野で使用されるプラスチック製品は、法人や自治体でも廃棄以外の出口があるということが双方のメリットにもなり、当社を選択する方がいらっしゃることもポジティブな要素になっています。



再生プラスチックを原料にした容器を製品として販売

回収したプラスチック製品は、再度資源のかたちに戻して「再生ポリプロピレン入りファイルボックス」など新たな商品の原料として再利用。リサイクル商品は、見た目や品質・価格に変化がなければ環境にもメリットがあるという点で、特に気にせず購入されるお客様が多いようです。社内では、再生プラスチックだけでなく、環境への負荷という観点で考え、天然素材への代替など様々な観点で環境に対して考えるきっかけとなっています。

プラスチック3R活動に関して お聞きしました

「無印良品 イオンモール岡山」へ インタビューに行ってきました！



お話を伺ったのは
森川店長



Q. おかやまプラスチック3R宣言事業所への登録のきっかけは何ですか？

A. 創業当初から大切にしている「良品計画」の考え方にに基づき、私たちは環境や社会に配慮したもののづくりをずっと続けてきました。こうした姿勢は、単に商品をつくるだけでなく、会社としてどのように社会に向き合うかという考え方にもつながっています。その中で、プラスチック3Rの取組は、日々の業務の中で一人ひとりが環境を意識するきっかけになると感じています。これらの取組を積み重ねることで、持続可能な社会の実現に向けた会社全体の意識を、より高めながら進めていけると考えています。



Q. プラスチック3Rに関する取組を実践しての感想を聞かせてください。

A. プラスチック3Rの取組を続けていく中で、商品を長く使うことの大切さや、環境に配慮したライフスタイルを提案するためのプラスチック製品の回収や給水サービスといった活動が、さらに広まることを期待しています。



Q. 企業としての今後の目標などを教えてください

A. 今後も、資源循環型・自然共生型・持続可能な社会の実現を目指し、使い終わった商品を資源として循環させる商品の開発を進めていきたいと考えています。